



## ◆この状況下で今、必要なことを行うこと

## － コロナ禍で改めて考える －

校長 千葉 貴樹

長引くコロナ禍、二学期がスタートしました。出口が見えず閉塞感も感じられるにもかかわらず、いつもと変わらぬ子どもたちの笑顔や歓声、明るく活気のある姿に元気づけられるのは私だけではないと思います。

しかし、このような状況だからこそ、今まで以上に、学校としての方針の下、個々の様々な状況に寄り添いながら、子どもたちの安全・安心を第一に考え、学びを進めていくことが学校に求められています。

そこで、本校では、以下の点を大切に二学期の学校経営を進めていきたいと考えています。

## ○保護者の方や関係機関と連携の下、一人一人の状況に対し尊重・配慮しながら、感染症対策の徹底を図ります。

- ・全国的な感染拡大や感染の低年齢化傾向の指摘等、収まる気配の見えないコロナ禍で、一見元気に見える子どもたちですが、保護者の方も含め、長引く感染拡大防止策の継続の中で、様々な困難な状況に置かれています。
- ・肉体的心理的な疲労感や感染への心配はもちろんのこと、マスク着用による息苦しさや暑さ、これらによる体への影響、手洗いや手指消毒による肌荒れや病原体から体を守る皮膚常在菌の除去、ソーシャルディスタンスを図ることや友達との話し合いの時間の削減によるコミュニケーション不足等上げたら切りがありません。
- ・さらに、こういった状況は子ども一人一人によって異なるとともに、コロナ感染への懸念と合わせて、子どもたちだけではなく保護者の方の不安や心配、ストレスは益々増大しています。
- ・以上のことを踏まえ、学校としては、感染症対策について、学校としての方針を示しつつも、保護者の方や関係機関とも連携を密に図りながら、一人一人の状況に対し尊重・配慮して徹底を図っていきます。

## ○子どもたちの「学びの連続性」や「学びの深まり」を意識し、日々の教育活動の充実に努めます。

- ・子どもたちは、コロナ禍の前と比べ、三密になりやすい活動など、十分に行えなくなった教育活動があります。
- ・しかし、子どもたちは日々の体験や学習を活かし、既習事項をつなげながら学びを深め広げていきます。
- ・この「学びの連続性」を止めることなく、「子どもの成長」をより一層進めていくために、感染症対策を十分に講じつつ、一人一台タブレット等を活用して、教育活動の充実に努めていきます。

## ○学校行事を、その時々々の様々な状況を踏まえ、実施方針を明確にしつつも、柔軟に実施していきます。

- ・二学期には、移動教室や運動会、学習発表会等子どもたちの成長を大きく期待できる学校行事が多くあります。
- ・現在、工夫して実施する予定ですが、今後の感染の拡大状況によっては、延期や中止、内容の大幅変更の可能性もあります。
- ・学校といたしましては、今までのそしてこの先の新型コロナウイルスに関する状況を見極めて、企画立案を進めてまいります。その後の様々な状況を踏まえ軌道修正をしながら、その時々々の状況に即した学校行事が行えるように努めてまいります。

以上の点については、学校経営を支えて下さっている学校運営協議会の方々から意見・助言をいただきながら進めていくとともに、保護者の方々にも適宜適切に情報提供しながら連携・協働して感染症対策と教育活動の充実に推進していきますので、二学期においても変わらぬご理解・ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

## 9月の行事予定

※ ( ) の中の数字は学年を表します

1日(水) 始業式、大掃除、避難訓練	16日(木) 八ヶ岳自然教室2日目(5)
2日(木) 給食(始)	17日(金) 八ヶ岳自然教室3日目(5)
委員会活動(6校時)	20日(月) 敬老の日
3日(金) 立川シビックプライド(5)	22日(水) 4時間授業
6日(月) 6時間授業(5, 6)	23日(木) 秋分の日
キラリ指導開始	24日(金) ファーレ立川見学(5)
7日(火) 安全指導	27日(月) 運動会係児童打ち合わせ(5, 6)(6校時)
8日(水) さいわい塾	29日(水) 4時間授業
13日(月) 6時間授業(5, 6)	研究授業(3年2組)(5校時)
14日(火) 八ヶ岳事前検診(5)	はっぴいスマイルくらぶ
15日(水) 4時間授業	
八ヶ岳自然教室1日目(5)	
給食試食会	
はっぴいスマイルくらぶ	
	10月当初の予定
	4日(月) 委員会活動 5日(火) 運動会特別時程始
	6日(水) さいわい塾 8日(金) 係児童打ち合わせ

## 9月の生活目標 「相手の目を見てあいさつをしよう。」

## 9月の保健目標 「生活のリズムを整えよう。」

2学期が始まりました。声だけでなく相手の目を見て挨拶をすると気持ちがよく伝わります。そのときにお互いが笑顔だと、さらに嬉しく明るい気持ちになることでしょう。学年を超えて、気持ちのよい挨拶の輪を広げていきましょう。

### ☆委員会活動について

特別活動担当 遠藤 淳

幸小学校では、「代表」「集会」「放送」「図書」「保健」「体育」「環境」の7つの委員会があります。代表委員会は3年生以上、その他の委員会は5, 6年生で構成され、年間を通して（代表委員会の中学年は学期で交代）活動しています。各委員会の目的は、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、自主的・実践的に取り組むことです。コロナ禍の影響で、全校児童が一堂に会せないなどの活動が制限されているため、例年行っている活動ができない委員会もありますが、現状でできることを考え、工夫して活動しています。そんな中、集会委員会では、オンライン集会という新しい形の集会を考え1学期に実践することができました。

### ☆東京グローバルゲートウェイ訪問について

第6学年主任 小泉 友

6月25日（金）に東京グローバルゲートウェイに行ってきました。グループに一人ずつネイティブの先生（エージェント）がついて、活動中はすべて英語でコミュニケーションをとりました。空港で買い物をするなどのミッションに取り組んだり、グループでコマドリ動画を作成したり、協力して橋づくり等に取り組んだりしました。「英語について親しみがもてた。」「苦手意識が少しなくなった。」など子供たちは楽しんで活動することができました。これからの外国語活動に活かしていくことができるといいなと思います。

### ☆応急救護講習について

第6学年主任 小泉 友

7月12日（月）に応急救護講習を行いました。心臓マッサージとAEDの使い方を学びました。まず大切なことは動き出す勇氣、慌てない心だということが分かりました。事故が無いことが一番ですが、もし目の前で事故が起きた時も、慌てずに自ら動くことができるといいです。

### ☆認知症サポーター養成講座について

第4学年主任 池谷 典子

7月19日（月）4年生は、立川市北部中さいわい地域包括支援センターの方3名と、立川市社会福祉協議会の方1名を講師に迎え、認知症サポーター養成講座の学習に臨みました。認知症の家族と暮らすVTRを見たり、講師から説明を受けたりすることで、認知症の仕組みや症状、周りの人の対応について学びました。子供たちからは、周りの人たちよりも、認知症の方こそ不安な気持ちでいるだろうから、助けたり温かく見守ったりしていきたいという、考えが発表されました。子供たちが成人する頃には、認知症の方は今より多くなることが予想されます。サポーターとして、オレンジのカードを受け取った子供たちが、少しでも社会を明るくしてくれることを期待します。

※4年生より 7月号でお願いしたラップの芯についてです。お手元にある方は、9月中旬までに、お子様を通して4年担任宛に届けていただけますとありがたいです。よろしくお願いいたします。

### ☆自由研究・自由工作の作品展について

文化的行事担当 中村 好夏

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鑑賞時間と鑑賞いただく方を限定して展覽いたします。

【日時・対象】 13日（月）3, 4年保護者10時～16時 14日（火）5, 6年保護者10時～16時  
16日（木）3, 4年保護者10時～16時 17日（金）5, 6年保護者10時～16時

\*いずれの日でも13:05～13:25は清掃時間のため、鑑賞いただけません。

\*1, 2年保護者は日付の御指定はありません。

【観賞場所】 北校舎1階 入り口は北校舎西昇降口（家庭科室横）です。

【お願い】 履物を入れる袋、上履き、名札をご持参ください。マスクの着用及び手・指の消毒のご協力をお願いいたします。体調がすぐれない場合は、来校をお控えください。

### ☆2学期の教育活動について（新型コロナウイルス感染症対策）

本日配布しました、感染症対策に関する別紙「2学期の教育活動について」（立川市教育委員会・幸小学校）には、「感染症拡大の状況における特別な措置」や「タブレットPCを活用した新たな授業や学習の進め方」「感染者が判明した際の新たな対応」等について記載していますので、ご確認ください。ご不明な点がありましたら、学校へご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。